

公衆衛生看護学臨地実習I

保健師コース必修

開講年次：4年次前期

科目区分：実習

単位：2単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：公衆衛生看護の対象と方法を理解し、コミュニティで生活している人々と直接触れ合い、多様な健康レベルにある個人や家族、集団を対象とした援助方法を理解する。また、事業所や学校などにおける活動のプロセスを学び、労働衛生管理等の側面や発達段階ごとの健康課題から多様な組織で行われる保健活動を理解する。

■**到達目標**：1. 対象（個人・家族、集団）が健康課題を解決・改善し、セルフケア能力を高める支援方法について理解する。
2. 集団・組織・地域の人々の生活や健康課題の解決に向けて行われる保健活動の実際を学ぶ。
3. 多様な組織で行われる保健活動について理解し、地域保健全体における組織間の協働と連携について考察する。
4. 学生として地域社会や組織の秩序を理解し、主体的・積極的に学習する

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎櫻井 繭子・本田 光・近藤 圭子・田仲 里江・喜多 歳子

■**授業計画・内容**：

別途配布する「公衆衛生看護学臨地実習I要項」に基づいて、下記のスケジュール・実習施設で実施する。

- ・学内オリエンテーション1（実習全体）：5月上～中旬予定
- ・札幌市保健所総合オリエンテーション：5月中旬予定
- ・学内オリエンテーション2（実習施設別）：5月下旬予定
- ・臨地実習 2017年6月12日(月)～7月28日(金)

＜実習施設＞

- ・行政保健：札幌市保健所、札幌市各区役所・保健センター（市内8区：計16カ所）
根室保健所、根室市役所、中標津保健所、羅臼町、別海町
- ・産業保健：事業所、労働衛生機関
- ・学校保健：札幌市立小学校・中学校

実習施設は学生1人につき、行政機関（保健センターと区役所、または保健所と市）、事業所等、教育機関の計3カ所とする。

■**教科書**：なし

■**参考文献**：関連科目で使用した教科書や資料

■**成績評価基準と方法**：実習への参加状況、記録・レポートの内容から、目標1)～4)の達成度を評価する。

評価方法	実習目標				評価基準	評価割合 (%)
	目標1)	目標2)	目標3)	目標4)		
記録	◎	◎	◎	○	記録・レポート・グループワーク・プレゼンの評価を総合して、目標1)～3)の達成度を判断する。	70
レポート	◎	◎	◎	○		20
カンファレンス	◎	◎	◎	◎		10
出席					2/3以上の出席	欠格条件

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：公衆衛生看護学概論、公衆衛生看護援助論Ⅲ、健康教育指導法、公衆衛生看護技術論、ヘルスプロモーション活動論、保健医療福祉行政論Ⅲ・保健統計・疫学Ⅲ、公衆衛生学

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：関連科目のすべてを統合した実習です。これまで履修した科目の内容を復習し、知識・技術ともに十分な準備をして臨んでください。体調管理に留意し、実習場面で積極的に思考・行動できる状態に整えましょう。